

## 前立腺肥大症の最新治療法 ツリウムレーザーについて(平均

入院期間：4～5日)

2014年に導入したレーザーを用いた前立腺蒸散術(PVP)は、2019年6月に大阪府下で最初の最新治療機器であるThuliumレーザー(Quanta Cyber TM)を導入しました。このツリウムレーザー治療はヨーロッパ泌尿器科学会のガイドラインでも推奨されている治療法です。ツリウムレーザー治療は現行の低侵襲治療よりもさらに術中術後の痛み・浮腫(むくみ)が少なく、合併症がより少ないことが特徴です。



### ツリウムレーザーの特徴：

本機器は水に対する吸収率が高く、手術開始時から終了時まで蒸散効率が低下せず一定に保たれる特長があります。軟部組織を迅速に焼灼/切断することができ、レーザー光の組織への深達度が0.1-0.2mmと浅いため、まわりの組織に対する影響が少なく安全で、術中および術後の出血リスクが低く、抗血栓療法中(血液サラサラ薬内服中)の方にも行なうことができます。最高出力200Wの高出力、かつ長時間連続使用できることから、大きな前立腺肥大症にも有効で術後合併症の発生率が低いことが報告されており、治療適応の幅が拡大しています。